

「ロンドンでステップ」

(第三十二回)

ここはロンドン。映画「マイフェアレディー」で知られるコペントガーデンを歩いていると、ダンス学校「パイナップルスタジオ」を見つけた。受付で詳細を尋ね、ジャズダンスクラスを受講してみることに。1時間のレッスンで、ストレッチやステップの基本を学び、お洒落な振り付けで踊ることができたのだ。

同スタジオの設備は、レッスン場やシヤワールームなど基本的なもの、ハード面に豪華さは見られない。しかし、1日に多くの講座を組み込んで様々なニーズに
 応えるなど、ソフト面は充実している。希望者はいつでも自由に受けられるのだ。それも、いずれのクラスも1時間わずか5ポンド(約千円)という安さ。誰にでも

健康のススメ

板東 浩

門戸を広げるこの文化や土壌、さらに芸術性や大衆性を総合した指導に、私は感銘を受けた。

特に驚かされたのはバレエ専攻クラス。老若男女の数十人が1、2、3とワルツのステップを踏んでいた。つま先を左右に開き、横に歩きながら両手を広げる。基本に引き続いて、すぐに実践。シヨバンのピアノ協奏曲が流れてくる。甘美なメロディに包まれて、バレーナになった気分だ。ひときわ目立っていたのが70歳代と思われる男性だった。頭はつるつるで光り輝き、お腹は大きく出ているのに、

衣装は黒のレオタード。その微笑ましい姿からは、単に友人を捜すのではなく、バレエを追究して自己表現しようとする意志が伝わってくる。私たち日本人も彼を見習って、人生の楽しみ方を学びたいものだ。
 (医学博士・内科医師)